

たんぽぽだより

2022年 1月号



あけましておめでとう

あけましておめでとう

今年も子どもたちが健やかに育ちますように

今年も保育サロンたんぽぽをよろしく願っています。

保育サロンたんぽぽの保育目標である『生きる力を育む』について。

『生きる力』とは困難にぶつかったとしても生きよう・前に進もうとする力で、子どもの心が自由に伸び伸びと育ち、自分の思いを出せる事が出来るような保育を行います

生きているうちには、必ず困難な事やチャレンジする事が出てきます。どう対処するか？は自分の事をどう思っているか？つまり自己肯定感・自尊感情によって大きく変わってきます。

0歳から3歳までの子ども達はすべてを依存している状態から、自分で体を思うように動かせるようになってきます。

それに合わせて心の発達も依存状態から「じぶんで」に変っていきます。人生の中でこんなに成長するのはこの時期だけです。

この時期に大事な事は、「ほめられる」より「認めてもらい共感してもらう」体験が大事です。「ほめられる」は、人より優れている事・上手に出来るようになった事柄が必要です。「認められる」は、自分の存在がそこにある。生まれてこれたことが奇跡であることで充分です。そして自分の感情が、共感され、受け入れられる事で自分の存在が認められたと感じられます。(ただし共感して受け入れるとは、**子どもの言うとおりにする事ではありません**。子どもがどう感じてどうしてほしいのかを**理解して言葉にして**、言葉にしたならそれが出来るかできないかを理由もちゃんと説明していく事です。それで**一人の人として尊重されたと感じます**。)

それが、**自分を信じる力(自信)**になり、生きる力になっていきます。

おねがい

- ・寒い日もありますが、体力つくりのために園庭や散歩に出かけます。靴は足に合って履きやすいものをお願いします。
- ・つぼみ組の洋服の着替えは、3組程お願いします。

保育サロン
たんぽぽ

12月の苦情・ご提案については、以前お手紙でお知らせしたとおりです

今月の目標:季節の行事を楽しむ。～寒さに負けない元気な身体作り～

つぼみ組【0歳児】:一人ひとりの体調に合わせて、散歩したり園庭などで運動遊びを自由に楽しむ。お正月ならではの遊びを体験する。保育士と一緒に手遊びや音楽遊びを楽しむ。

もも組【1歳児】:冬の自然に触れ、喜んで遊ぶ。保育者や友だちと関わって、お正月遊びやごっこ遊びを楽しむ。

ゆり組【2歳児】:体調に気を付けながら寒い冬を元気に過ごす。お正月ならではの伝統遊び(凧揚げ、こままわし、福笑い等)や季節の遊びを楽しむ。

1月の保育内容

養護

つぼみ組: 保育士のそばで安心して遊んだり欲求を満たしてもらい信頼関係を深める。様々な食べ物の味に慣れ手掴み食べをしながらも、スプーン、フォークを使って一人で食べてみようとする。紙オムツに排尿したら保育士に交換してもらって心地よさを感じる。指差しや単語などで自分の欲求を伝えようとする。

もも組: 体調に気をつけながら欲求を受け止め、少しずつ園の生活リズムを取り戻していけるように配慮する。甘えたい気持ちを十分に受け止め、一緒に過ごしながらか友だちに対しても関心が持てるよう声掛けをし、一緒に遊ぶ楽しさを伝える。「自分で」という気持ちを大切に、励ましたり見守ったりしながら意欲につなげ、できた喜びを共感していく。

ゆり組: 休み明けの生活リズムを整えながら安心して過ごす。保育室内の換気、湿度、温度に留意しながら快適に過ごせるようにすると共に下痢、嘔吐等適切な処理を行い二次感染の予防を行う。

教育

つぼみ組: 保育士の呼びかけで、手を洗ったり、拭いたりできるようになる。友だちに関心をもち真似したり、一緒に遊んだりして様々な玩具を使って遊ぶ。生活の中で経験していることや保育者のしていることを真似して遊ぶ。絵本の中の言葉を身振り手振りしながら、保育士と一緒に、繰り返し真似をして楽しむ。ごっこ遊びや模倣遊びを楽しむ。探索行動の範囲が広がり、狭い所に入ったり友達同士で走り回って遊ぶ。天気の良い日は外に出て風、雪に触り、冷たさや感触を楽しむ。

もも組: スプーンフォークで意欲的に食べる。尿意を感じたり、オムツが濡れると保育者に知らせ、トイレに座る。保育者や友だちとお正月の遊びや、ごっこ遊びを通して関わりを深めていく。保育者や友だちと一緒に遊びを楽しむ中で、簡単な言葉のやりとりを楽しむ。雪や氷などの冬の自然に触れて遊ぶ。様々な素材に触れながら指先や手首を使う遊びを楽しむ。

ゆり組: 箸やスプーンを持ち、器に手を添えながらこぼさないように食べようとする。尿意や便意を感じ、自分でトイレに向かおうとする。簡単なルールのある遊びをやってみようとする。(椅子取りゲーム、かごめかごめ等) 自分の思いや経験したことを話し伝わる喜びを味わう。戸外や室内で体を動かして遊ぶことを楽しむ。歌を歌うことを楽しんだり、保育者とハサミや糊を使ってみたり綿や毛糸の感触を楽しむ。

1月の歌

たこあげ・ゆげのあさ・雪・雪のペンキ屋さん・こんこんくしゃん・まめまき etc